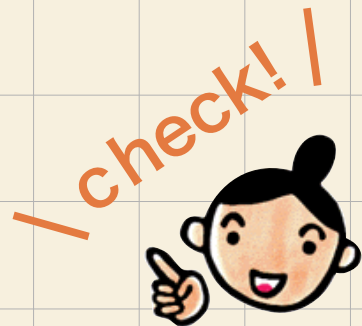


家具の耐震対策 チェックシート



あなたのお宅の家具の耐震対策は万全ですか?該当する項目にチェックを入れましょう!

☐ 家具は家の構造体にしっかりと固定している。

倒れた家具の下敷きになって怪我をしたり、動いた家具によって逃げ道をふさがれて逃げ遅れたりします。大きな怪我につながるが家具の転倒です。家の壁面構造下地にしっかりと固定しましょう。

☐ ボードにたくさんの物を収納している。

物をあまり収納しないで軽いボードよりも、たくさんの物を収納して全体重量が重いボードの方が転倒しにくい傾向があります。たくさん収納しましょう。

☐ 重い物をボードに収納する時には、低い位置に収納している。

軽い物は高い位置に、重い物は低い位置に収納しましょう。ボードの重心位置が低くなり、安定感が増して転倒しにくくなります。

☐ ボードを設置している床材は、家具が滑りやすい素材だ。

カーペットや畳など家具が滑らない床材の上に、転倒の危険がある高さのボードを設置するとフローリングなどの滑りやすい床材よりも転倒しやすい傾向があります。滑りにくい床材の場合は、しっかりと壁面構造下地に固定しましょう。

☐ ボードの中身は飛び出さないように工夫している。

収納物の飛び出しは、身体にぶつかって怪我をしたり、物が散乱して逃げ道がなくなって逃げ遅れの原因になります。扉が開かないように耐震対策をしましょう。

☐ ボードのガラス扉や窓ガラスの飛散防止対策はしている。

ガラスは割れるとたいへん危険です。製品購入時に割れ難いガラスを採用している製品にしたり、飛散防止フィルムを貼ることで破片が飛び散りにくくなります。また、滞在時間の長い部屋には、家族人数分のスリッパ等を準備しておく、非難時のケガの確率が減ります。

☐ テレビ、電子レンジ、パソコンなどの大型電化製品は固定している。

阪神大震災や東日本大震災では、テレビや電子レンジが頭上を飛んでいったという報告もされています。大型の電化製品の飛び出しは大きな怪我につながります。耐震マットを敷いたり、機器を固定しましょう。

☐ お部屋の開き扉などの出入り口近くや、廊下などには家具は設置していない。

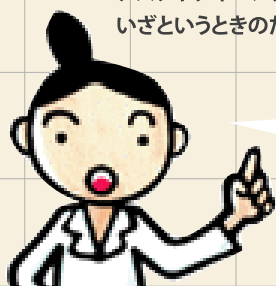
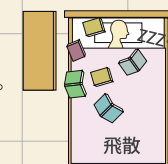
地震時に家具は倒れたり、揺れ方向によっては移動したりと様々な動き方をします。開き扉の前に家具が移動した場合、扉が開かなくなって避難できなくなります。こういった場所には家具は設置しないか、高さが低くてもしっかりと壁面構造下地に固定しましょう。

☐ 寝室の就寝スペースの周りに高さのある家具は設置していない。

人は1日うち約1/3の時間を寝室で過ごします。就寝している時に地震が発生する可能性が高いとも言えます。壁面固定していても、大きな地震で絶対に外れないという保証はありません。どうしても無防備で迅速な対処や避難も取りにくいのが就寝時なので、設置しなければならない場合でも、倒れやすい方向にベッドを設置しないなどの検討が必要です。

☐ 地震の揺れが収まるまでの間、身の安全を守るための場所を決めている。

デスクやダイニングテーブルの下などに避難することは、落下物から身を守るための有効な手段です。いざという時のために、お部屋毎に身の安全を守るための場所を決めておきましょう。



耐震対策に絶対に大丈夫なものは残念ながらありません。
しかし複合的な対策が必ず安全性を高めてくれます。
10個総て該当するように耐震対策をおこないましょう!